

関節リウマチ（7問）

はき国家試験 リハビリテーション医学

はき 1-93 関節リウマチの理学療法で正しいのはどれか。

1. 急性増悪期にも安静は不要である。
2. スプリントを使う場合は自動運動を終日禁じる。
3. 慢性期には変形予防が必要である。
4. 筋力強化は行わない。

はき 4-95 関節リウマチで正しい記述はどれか。

1. 関節炎は大関節に起こりやすい。
2. 進行しても関節拘縮は起こさない。
3. 手指の尺側偏位を起こしやすい。
4. 内臓病変を伴わない。

はき 9-95 関節リウマチの理学療法で適切でない記述はどれか。

1. 全身訓練により呼吸運動の維持を図る。
2. 関節可動域訓練は愛護的に行う。
3. 筋力維持増強訓練は他動運動を中心に行う。
4. 疼痛を軽減する目的でホットパックを用いる。

はき 11-91 関節リウマチのリハビリテーションで誤っている記述はどれか。

1. 運動時痛を伴う間は関節の安静を保つ。
2. 筋力強化は等尺性運動を基本とする。
3. 関節可動域訓練は可動範囲いっぱい動かす。
4. 疼痛を軽減する目的で温熱療法を併用する。

はき 15-86 関節リウマチ患者の筋力増強法として最も適切なのはどれか。

1. 等運動性訓練
2. 求心性筋収縮訓練
3. 遠心性筋収縮訓練
4. 等尺性筋収縮訓練

はき 23-87 関節リウマチ患者によく用いる自助具はどれか。

1. リーチャー
2. 筆談ボード
3. ユニバーサルカフ
4. トランスファーボード

はき 26-88 ステージ I の関節リウマチの非活動期に行うリハビリテーションで最も適切なのはどれか。

1. 関節の安静
2. 軽い自動運動
3. コッドマン体操
4. 筋力強化訓練

関節リウマチ（ 8 問 ）

あまし国家試験 リハビリテーション医学

あ 1-100 関節リウマチで正しいのはどれか。

1. 関節の炎症はない。
2. 急性再燃することがある。
3. 骨性強直は起こらない。
4. 筋強化訓練は不要である。

あ 3-104 関節リウマチについて正しい記述はどれか。

1. 手足のこわばりは夜間に増悪する。
2. 関節症状以外に心肺症状の併発に注意する。
3. 手指の変形はまれである。
4. クラス 1 の機能障害では寝たきりとなる。

あ 4-104 関節リウマチで誤っている記述はどれか。

1. 高齢者の発症は少ない。
2. 中手指節関節に多い。
3. 炎症症状に応じて運動療法を行う。
4. 関節可動域訓練は強力に行う。

あ 5-105 関節リウマチ患者の理学療法で適切でないのはどれか。

1. 鉄アレーを用いた筋力増強
2. 歩行器を用いた歩行訓練
3. 氷を用いた寒冷療法
4. パラフィンを用いた温熱療法

あ 6-105 関節リウマチの温熱療法の効果で誤っている記述はどれか。

1. 関節の変形が改善する。
2. 関節の痛みが軽くなる。
3. 筋のスパズムが軽くなる。
4. 末梢血管が拡張する。

あ 7-104 関節リウマチのリハビリテーションで適切でないのはどれか。

1. 巧緻動作訓練を行う。
2. 強い抵抗運動を行う。
3. 自助具を積極的に利用する。
4. 疼痛軽減に物理療法を行う。

あ 8-105 関節リウマチについて誤っている記述はどれか。

1. 膠原病に属する。
2. 男性に多い。
3. 疼痛は気候と関係が深い。
4. 筋力訓練は自動運動を中心に行う。

あ 10-103 関節リウマチの自助具として適切でないのはどれか。

1. 柄の短い歯ブラシ
2. 握りの太いスプーン
3. 柄の直角なフォーク
4. てこを応用した蛇口ひねり

関節リウマチ（7問）

はき国家試験 リハビリテーション医学

はき 1-93 関節リウマチの理学療法で正しいのはどれか。

1. 急性増悪期にも安静は不要である。
2. スプリントを使う場合は自動運動を終日禁じる。
3. 慢性期には変形予防が必要である。
4. 筋力強化は行わない。

はき 4-95 関節リウマチで正しい記述はどれか。

1. 関節炎は大関節に起こりやすい。
2. 進行しても関節拘縮は起こさない。
3. 手指の尺側偏位を起こしやすい。
4. 内臓病変を伴わない。

はき 9-95 関節リウマチの理学療法で適切でない記述はどれか。

1. 全身訓練により呼吸運動の維持を図る。
2. 関節可動域訓練は愛護的に行う。
3. 筋力維持増強訓練は他動運動を中心に行う。
4. 疼痛を軽減する目的でホットパックを用いる。

はき 11-91 関節リウマチのリハビリテーションで誤っている記述はどれか。

1. 運動時痛を伴う間は関節の安静を保つ。
2. 筋力強化は等尺性運動を基本とする。
3. 関節可動域訓練は可動範囲いっぱい動かす。
4. 疼痛を軽減する目的で温熱療法を併用する。

はき 15-86 関節リウマチ患者の筋力増強法として最も適切なのはどれか。

1. 等運動性訓練
2. 求心性筋収縮訓練
3. 遠心性筋収縮訓練
4. 等尺性筋収縮訓練

はき 23-87 関節リウマチ患者によく用いる自助具はどれか。

1. リーチャー
2. 筆談ボード
3. ユニバーサルカフ
4. トランスファーボード

はき 26-88 ステージ I の関節リウマチの非活動期に行うリハビリテーションで最も適切なのはどれか。

1. 関節の安静
2. 軽い自動運動
3. コッドマン体操
4. 筋力強化訓練

関節リウマチ (8 問)

あまし国家試験 リハビリテーション医学

あ 1-100 関節リウマチで正しいのはどれか。

1. 関節の炎症はない。
2. 急性再燃することがある。
3. 骨性強直は起こらない。
4. 筋強化訓練は不要である。

あ 3-104 関節リウマチについて正しい記述はどれか。

1. 手足のこわばりは夜間に増悪する。
2. 関節症状以外に心肺症状の併発に注意する。
3. 手指の変形はまれである。
4. クラス 1 の機能障害では寝たきりとなる。

あ 4-104 関節リウマチで誤っている記述はどれか。

1. 高齢者の発症は少ない。
2. 中手指節関節に多い。
3. 炎症症状に応じて運動療法を行う。
4. 関節可動域訓練は強力に行う。

あ 5-105 関節リウマチ患者の理学療法で適切でないのはどれか。

1. 鉄アレーを用いた筋力増強
2. 歩行器を用いた歩行訓練
3. 氷を用いた寒冷療法
4. パラフィンを用いた温熱療法

あ 6-105 関節リウマチの温熱療法の効果で誤っている記述はどれか。

1. 関節の変形が改善する。
2. 関節の痛みが軽くなる。
3. 筋のスパズムが軽くなる。
4. 末梢血管が拡張する。

あ 7-104 関節リウマチのリハビリテーションで適切でないのはどれか。

1. 巧緻動作訓練を行う。
2. 強い抵抗運動を行う。
3. 自助具を積極的に利用する。
4. 疼痛軽減に物理療法を行う。

あ 8-105 関節リウマチについて誤っている記述はどれか。

1. 膠原病に属する。
2. 男性に多い。
3. 疼痛は気候と関係が深い。
4. 筋力訓練は自動運動を中心に行う。

あ 10-103 関節リウマチの自助具として適切でないのはどれか。

1. 柄の短い歯ブラシ
2. 握りの太いスプーン
3. 柄の直角なフォーク
4. てこを応用した蛇口ひねり